

ス イ ス

Swiss Confederation

	2015年	2016年	2017年
①人口：848万人（2017年末暫定）			
②面積：4万1,285km ²			
③1人あたりGDP：8万591米ドル (2017年)			
④実質GDP成長率（%）	1.2	1.4	1.1
⑤消費者物価上昇率（%）	△1.1	△0.4	0.5
⑥失業率（%）	3.2	3.3	3.2
⑦貿易収支（100万スイス・フラン）	36,527	36,931	34,809
⑧経常収支（100万スイス・フラン）	70,959	62,234	65,536
⑨外貨準備高（グロス） （100万米ドル）	566,960	640,594	767,680
⑩対外債務残高（グロス） （100万スイス・フラン）	1,676,877	1,729,638	1,796,783
⑪為替レート（1米ドルにつき、 スイス・フラン、期中平均）	0.9626	0.9850	0.9846

〔注〕⑦：通関ベース
〔出所〕①②⑥：スイス連邦統計局、③⑨：IMF、④⑥：スイス連邦経済省経済事務局、⑦：連邦関税局、⑩⑪：スイス国立銀行

2017年のスイス経済は、堅調な内需と輸出産業の回復に支えられ、実質GDP成長率1.1%だった。貿易は、輸出は化学・医薬品以外の分野が回復し過去最高額を記録したが、輸入も大きく伸び、貿易黒字は縮小した。スイスへの対内投資は、米国企業によるヘルスケア関連企業の買収が目立った。対外直接投資では、医薬品、資源など幅広い分野での企業買収や再投資が活発に行われた。

■ 世界経済の好調と為替により製造業が回復

2017年のスイスの実質GDP成長率は1.1%だった。年初は貿易、ヘルスケア、行政を含むサービス産業の不振により控えめな成長にとどまったが、主要貿易相手国の好調な経済と通貨スイス・フランの対ユーロでの下落を背景に製造業が回復、宿泊や外食、金融などのサービス産業も回復し、年末には幅広い産業に支えられた健全な成長軌道へと回帰した。

需要項目別では、民間最終消費支出が1.2%、政府最終消費支出が1.0%、総固定資本形成が3.1%だった。

2018年第1四半期の実質GDP成長率は前期比で0.6%だった。連邦経済局（SECO）は、輸出と内需が引き続き経済を支え堅調に推移するとして、2018年の実質GDP成長率を2.4%、2019年を2.0%と予測する。機械、金属輸出、観光業などが伸び、研究開発需要の回復による輸送機器およびITへの設備投資の増加が期待される一方、

表1 スイスの需要項目別実質GDP成長率

(単位：%)

	2016年	2017年					2018年 Q1
		Q1	Q2	Q3	Q4		
実質GDP成長率	1.4	1.1	0.2	0.5	0.7	0.6	0.6
民間最終消費支出	1.5	1.2	0.1	0.1	0.3	0.2	0.4
政府最終消費支出	1.6	1.0	0.1	0.1	0.4	0.5	△0.3
国内総固定資本形成	3.0	3.1	1.6	0.8	0.9	△0.4	2.0
財貨・サービスの輸出	6.6	△0.7	△9.4	3.8	△1.2	2.7	△0.9
財貨・サービスの輸入	6.1	△2.5	△6.4	△1.2	2.9	△5.6	1.5

〔注〕四半期の伸び率は前期比（季節調整値）。財貨の輸出は、非貨幣金、貴重品、トランジット貿易品を含む。財貨の輸入は、非貨幣金、貴重品を含む。

〔出所〕スイス連邦経済省経済事務局

デジタル化による生産性向上を急ぐ企業の中には専門人材の不足に直面している傾向もみられる。スイス・フラン（CHF）は2018年4月の外国為替市場で一時1ユーロ = 1.2 CHFを記録し、約3年3カ月ぶりにスイス・フランの対ユーロ上限を撤廃した2015年1月以前の水準まで戻した。しかし、米国・EU間の貿易摩擦やイタリアの政治的混乱の行方によっては、安全資産としての買い戻しによるスイス・フラン上昇が懸念される。

■ 幅広い分野で輸出が回復、中国市場の存在感増す

2017年の貿易（通関ベース）は、世界的な景気拡大に加え、ユーロおよびドルに対するスイス・フランの下落基調が続く、輸出が前年比4.8%増の2,205億8,200万CHFと過去最高を更新した。輸入は7.0%増の1,857億7,400万CHFで、輸出以上の伸びを示した結果、貿易黒字が縮小し348億CHFとなった。

輸出は、製紙・印刷・出版物を除く全主要品目で増加した。輸出の4割強を占める化学品の増加による寄与が大きく、精密機械・時計・装身具（構成比21.2%）、機械および電気・電子機器（14.5%）も共に3.1%伸びた。時計（9.0%）は3年ぶりに輸出増に転じ、機械式時計が伸び2.7%増だった。なお、繊維・衣料製品（1.9%）の輸出が21.2%増と大きく伸びているが、これは外国の衣料通販サイトからの購入品の返品が輸出に計上されていることが背景にある。

輸出を国・地域別にみると、EU（構成比43.8%）では、

表2 スイスの主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位:100万CHF、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2016年		2017年		2016年		2017年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
化学品	94,277	98,596	44.7	4.6	43,627	46,741	25.2	7.1
医薬品	80,343	83,890	38.0	4.4	32,458	35,281	19.0	8.7
精密機械・時計・装身具	45,344	46,751	21.2	3.1	20,953	23,244	12.5	10.9
時計	19,407	19,921	9.0	2.7	3,863	3,545	1.9	△8.2
精密機械	14,999	15,646	7.1	4.3	7,413	7,706	4.1	4.0
アクセサリ・装身具	10,939	11,184	5.1	2.2	9,678	11,993	6.5	23.9
機械および電気・電子機器	31,080	32,054	14.5	3.1	28,653	30,393	16.4	6.1
産業用機械	18,467	19,094	8.7	3.4	11,096	12,042	6.5	8.5
電気・電子機器	10,384	10,871	4.9	4.7	10,487	11,223	6.0	7.0
金属製品	12,114	13,645	6.2	12.6	12,997	14,481	7.8	11.4
農・林・水産業製品	9,297	9,650	4.4	3.8	13,699	14,338	7.7	4.7
食品・飲料・たばこ	8,355	8,682	3.9	3.9	10,132	10,590	5.7	4.5
輸送用機器	5,087	5,422	2.5	6.6	19,080	19,003	10.2	△0.4
繊維・衣料製品	3,466	4,200	1.9	21.2	9,516	10,550	5.7	10.9
燃料・エネルギー	1,829	2,055	0.9	12.4	6,776	8,127	4.4	19.9
電力	1,385	1,502	0.7	8.4	1,531	1,719	0.9	12.3
原油・石油製品	433	537	0.2	24.1	4,363	5,402	2.9	23.8
合計 (その他含む)	210,473	220,582	100.0	4.8	173,542	185,774	100.0	7.0

[注] 貴金属・宝石、芸術品、骨董品 (加工して貨幣またはその代替品として流通可能なもの) は含まない。

[出所] スイス連邦関税局

表3 スイスの主要国・地域別輸出入<通関ベース>

(単位:100万CHF、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2016年		2017年		2016年		2017年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
EU	113,008	116,842	53.0	3.4	124,538	132,636	71.4	6.5
ユーロ圏	93,386	96,678	43.8	3.5	110,078	117,745	63.4	7.0
ドイツ	39,571	41,616	18.9	5.2	48,604	52,328	28.2	7.7
フランス	14,009	14,014	6.4	0.0	13,385	14,738	7.9	10.1
イタリア	12,504	13,762	6.2	10.1	16,795	18,006	9.7	7.2
ベルギー	5,843	4,130	1.9	△29.3	2,975	3,323	1.8	11.7
非ユーロ圏	19,622	20,163	9.1	2.8	14,460	14,891	8.0	3.0
英国	11,432	11,384	5.2	△0.4	6,395	6,087	3.3	△4.8
アジア大洋州	37,087	40,726	18.5	9.8	25,215	27,091	14.6	7.4
ASEAN	6,591	7,596	3.4	15.3	5,258	5,627	3.0	7.0
中国	9,863	11,403	5.2	15.6	12,284	12,995	7.0	5.8
日本	7,273	7,326	3.3	0.7	3,116	3,593	1.9	15.3
香港	4,852	5,345	2.4	10.2	1,132	1,193	0.6	5.4
韓国	2,786	3,062	1.4	9.9	807	710	0.4	△12
インド	1,619	1,646	0.7	1.7	1,281	1,456	0.8	13.6
北米	34,847	37,273	16.9	7.0	14,933	13,997	7.5	△6.3
米国	31,477	33,768	15.3	7.3	14,245	12,692	6.8	△10.9
カナダ	3,370	3,505	1.6	4.0	688	1,305	0.7	89.7
ロシア	2,010	2,241	1.0	11.5	371	208	0.1	△43.9
ブラジル	1,910	2,221	1.0	16.3	610	572	0.3	△6.3
メキシコ	1,346	1,367	0.6	1.6	729	963	0.5	32.1
合計 (その他含む)	210,473	220,582	100.0	4.8	173,542	185,774	100.0	7.0

[注] ①貴金属・宝石、芸術品、骨董品 (加工して貨幣またはその代替品として流通可能なもの) は含まない。

②アジア・大洋州は、ASEAN+6 (日本、中国、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、インド) に香港、台湾を加えた合計値。

[出所] スイス連邦関税局

最大輸出先のドイツ向け (18.9%) が5.2%増えた一方、フランス向け (6.4%) は宝飾品輸出の不振により横ばい、全体では3.4%増だった。

EU域外では、第2位の輸出先である米国向け (15.3%) が7.3%伸び337億6,800万CHFと過去最高を記録した。アジア大洋州向け (18.5%) は、特にシンガポール (1.9%) がけん引しASEAN向け (3.4%) が15.3%増、中国向け

(5.2%) が15.6%増、香港向け (2.4%) が10.2%増とそれぞれ増加し、全体で9.8%増だった。中国向け輸出は英国を抜き第5位の輸出先となった。

輸入は、エネルギー原料および金属の価格上昇が輸入金額を押し上げたことなどにより、全体で7.0%の伸びを見せた。全体の4分の1を占める化学品 (構成比25.2%) が7.1%増、機械および電気・電子機器 (16.4%) が6.1%増と、それぞれ伸びた。輸送用機器 (10.2%) は、航空機の輸入減少が乗用車および商用車の輸入増加分を相殺し、全体として0.4%減だった。精密機械・時計・装身具 (12.5%) が、アクセサリ・装身具 (6.5%) の23.9%増により、10.9%増を記録した。他方、時計 (1.9%) が8.2%減と落ち込んだが、これは時計部品のうち特に単価の高いムーブメントの輸入が13.2%減となった影響が大きい。その背景としては、2017年1月に「スイスネス法」が改定され、工業製品の「スイス産」表示要件である国内製造コスト比率が引き上げられたことを受け、基幹部品の国産シフトが進んだためとみられる。

輸入を国・地域別にみると、最大の輸入先であるEU (構成比71.4%) では、ドイツ (28.2%)、イタリア (9.7%)、フランス (7.9%) で7~10%増加し、ベルギー (1.8%) などでも11.7%増と大きく伸びた一方、英国 (3.3%) からは4.8%減少し、全体では6.5%増だった。

アジア大洋州 (14.6%) からの輸入が最も伸び、前年比7.4%増だった。日本 (1.9%) からが15.3%増、中国 (7.0%) からが5.8%増となった。北

米 (7.5%) はカナダ (0.7%) からの輸入が航空機の納入により89.7%増と大幅に伸びたが、米国 (6.8%) からの輸入減により、全体として6.3%減だった。

■対内直接投資は米国企業によるヘルスケア関連M&A目立つ

2016年の直接投資 (国際収支ベース、ネット、フロー)

表4 スイスのFTA発効・署名・交渉状況

(単位：%)

FTA		発効日	スイスの貿易に占める構成比 (2017年)		
			往復	輸出	輸入
発効済み (主要貿易相手国)	EU	1973年1月	61.4	53.0	71.4
	中国	2014年7月	6.0	5.2	7.0
	日本	2009年9月	2.7	3.3	1.9
	湾岸協力会議 (GCC) 諸国	2014年7月	2.4	2.8	1.9
	香港	2012年10月	1.6	2.4	0.6
	シンガポール	2003年1月	1.5	1.9	1.0
	カナダ	2009年7月	1.2	1.6	0.7
	韓国	2006年9月	0.9	1.4	0.4
	トルコ	1992年4月	0.8	0.8	0.8
	メキシコ	2001年7月	0.6	0.6	0.5
	EFTA (注①)	1960年5月	0.3	0.3	0.2
合計 (注②)			86.3	76.5	87.7
交渉中	南米南部共同市場 (メルコスール) (注③)	—	1.0	1.4	0.4
	ロシア・ベラルーシ・カザフスタン関税同盟	—	0.8	1.1	0.4
	インド	—	0.8	0.7	0.8
	タイ	—	0.5	0.5	0.5
	ベトナム	—	0.5	0.3	0.8
	マレーシア	—	0.3	0.3	0.3
	インドネシア	—	0.2	0.2	0.2
	アルジェリア	—	0.1	0.2	0.0
	エクアドル	—	0.0	0.1	0.0
	FTA カバー率 (交渉中も含む)			90.5	81.3

[注] ①EFTA：ノルウェー、アイスランドのみ計上 (リヒテンシュタインを含まない)。
 ②発効済みの合計値は、表に記載以外のFTA発効済み以下21カ国・地域も含めた合計。イスラエル、フェロー諸島、バレスチナ自治区、モロッコ、マケドニア、ヨルダン、チリ、チュニジア、レバノン、南部アフリカ関税同盟 (SACU: ボツワナ、レソト、ナミビア、南アフリカ共和国、エスワティニ (旧スワジランド))、エジプト、セルビア、アルバニア、コロンビア、ペルー、ウクライナ、モンテネグロ、中米諸国 (パナマ、コスタリカ、グアテマラ、ホンジュラス)、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ジョージア、フィリピン (協定締結順)。
 ③南米南部共同市場は、アルゼンチン、ブラジル、パラグアイ、ウルグアイ。
 [出所] スイス連邦経済省経済事務局「FTA一覧」。スイス連邦関税局貿易統計

表5 スイスの国・地域別対内・対外直接投資
 <国際収支ベース、ネット、フロー>

(単位：100万CHF、%)

	対内直接投資		対外直接投資	
	2015年	2016年	2015年	2016年
	金額	金額	金額	金額
EU28	65,637	41,347	76,228	51,556
ルクセンブルク	14,011	△139	9,023	8,489
オーストリア	△65	△15,657	220	257
ドイツ	1,558	2,857	1,880	6,404
フランス	609	△2,892	22,465	2,030
オランダ	23,295	55,132	14,295	23,337
英国	13,675	5,825	△13,270	11,162
イタリア	117	423	△548	798
ロシア	n.a.	n.a.	642	1,630
米国	103	9,922	8,349	36,102
中南米 (オフショア地域含む)	20,402	△5,480	△7,213	△20,503
ブラジル	n.a.	n.a.	△525	46
メキシコ	n.a.	n.a.	334	1,081
アジア・大洋州・アフリカ	△4,516	784	17,434	△716
日本	519	△422	243	2,256
シンガポール	n.a.	n.a.	588	△2,489
中国 (香港含まず)	n.a.	n.a.	1,494	1,686
インド	n.a.	n.a.	767	4
アラブ首長国連邦	n.a.	n.a.	54	△3,824
合計 (その他含む)	78,365	47,341	90,078	70,659

[注] ①2017年の国・地域別内訳は2018年8月時点で未発表。
 ②n.a.は非公表
 [出所] スイス国立銀行

の合計は、対内直接投資が473億4,100万CHF、対外直接投資は706億5,900万CHFと共に前年を下回った。

スイス国立銀行による2017年の投資統計は2018年8月時点で未発表だが、世界銀行の統計によれば、対内直接投資が2016年の604億7,742万ドルから2017年は378億6,400万ドルに減少、対外直接投資は2016年の845億7,800万ドルから、2017年は178億400万ドルの引き揚げ超過に転じた。対内直接投資が前年比で大きく減少した背景として、経済紙「ハンデルツァイトゥング」のM&A特集 (2018年1月29日付) は、2016年に中国化工集団の農業化学大手シンジェンタ買収という430億ドルの巨額案件があったことを挙げている。

2017年のスイスへの対内直接投資案件をみると、米国企業によるヘルスケア関連の買収が目立った。最大案件は米国ジョンソン・エンド・ジョンソン (J&J) による2017年6月の医薬大手アクテリオンの買収で、買収額は300億ドルに上った。J&Jはバイオ医薬品製品群の拡大により、医薬品部門の収益力向上を図る。またアクテリオンは研究開発部門をスイスで分離上場し、国内で研究開発活動を継続する。大企業間以外でも、医療機器のボストン・サイエンティフィックが2017年5月、心疾患用治療機器の中小企業シメティスを買収するなど、業界全体で活発に買収が行われた。中国企業からの投資は、中国海航集団 (HNAグループ) の2017年8月の免税店デュフリー買収、2017年12月の資源大手グレンコアが保有する石油貯蔵事業の株式取得があったが、全体では中国当局による対外投資管

表6 スイスの業種別対内・対外直接投資
 <国際収支ベース、ネット、フロー>

(単位：100万CHF、%)

	対内直接投資		対外直接投資	
	2015年	2016年	2015年	2016年
	金額	金額	金額	金額
製造業	12,836	3,656	12,826	28,863
電子・光学・時計等	5,539	2,199	△955	8,846
金属・機械	743	△77	△250	3,320
化学・プラスチック	6,382	813	866	8,029
その他産業・建設	171	722	12,597	6,969
繊維・アパレル	n.a.	n.a.	568	1,699
サービス	65,529	43,685	77,252	41,796
商業	10,861	7,232	24,519	4,939
運輸・通信	△537	443	3,140	509
保険	57	1,143	7,078	20,103
銀行	△2,639	△1,260	△2,417	2,117
金融持株会社	40,674	26,727	39,083	2,071
その他サービス	17,114	9,400	448	5,320
合計 (その他含む)	78,365	47,341	90,078	70,659

[注] 2017年の業種別内訳は2018年8月時点で未発表。
 [出所] スイス国立銀行

表7 スイスの主な対内直接投資案件（2017年）

< M&A >

被買収企業（事業）		買収企業		時期	投資額	概要
業種	企業名	企業名	国籍			
医薬品	アクテリオン	ジョンソン・エンド・ジョンソン	米国	2017年6月	300億ドル	アクテリオンの全公開株式を取得。同社の希少疾患治療薬取得によりポートフォリオを拡充する。取引の一環として、アクテリオンは研究開発（R&D）部門を分離・上場。
	ロイヴァント・サイエンシズ	ソフトバンク	日本	2017年9月	11億ドル	ソフトバンクは、新薬候補のデータを集め人工知能を活用した新薬開発に取り組むロイヴァント・サイエンシズに投資。
免税店	デュフリー	HNAグループ（海航集団）	中国	2017年8月	非公開	中国の航空・海運大手、海航集団（HNAグループ）が株式16.2%を新たに取得し、持ち分は20.92%に。運輸や観光分野での事業拡大を狙い。
資源	グレンコア	HNAグループ（海航集団）	中国	2017年12月	7億7,500万ドル	資源大手グレンコアは、石油製品の貯蔵・物流事業の株式51%を、中国の航空・海運大手、海航集団（HNAグループ）傘下の海航創新金融集団に売却。
	グレンコア	トレヴァリ・マイニング	カナダ	2017年8月	4億1,786万ドル	グレンコアは、同社が保有するナミビアRosh Pinah亜鉛鉱山の権益80%及びブルキナファソPerkoa亜鉛鉱山の権益90%をトレヴァリに売却。
農業	シンジェンタ	ニューファーム	オーストラリア	2017年10月	4億9,000万ドル（注）	オーストラリア農業大手ニューファームは、中国の中国化工集団傘下のイスラエルの農業関連会社アダマ・アグリカルチュラル・ソリューションズとスイスの農業大手シンジェンタの2社が保有する作物保護事業の取得を決定。
医療機器	シメティス	ポストン・サイエンティフィック	米国	2017年5月	4億3,500万ドル	医療機器のポストン・サイエンティフィックは、スイスの心疾患向け治療機器メーカーシメティスを買収、ポートフォリオ拡大を目指す。
アプリ	dacadoo	楽天キャピタル	日本	2017年7月	非公開	楽天キャピタルは、スイスのヘルスケアアプリ開発のスタートアップdacadoo社への出資を発表。楽天キャピタルのプリンシパルが同社の理事に就任。

〔注〕 イスラエルのアダマ・アグリカルチュラル・ソリューションズの事業を含めた合計額

〔出所〕 各社発表および報道などから作成

表8 スイスの主な対外直接投資案件（2017年）

< M&A >

買収企業	被買収企業（事業）			時期	投資額	概要
企業名	業種	企業名	国籍			
ノバルティス	医薬品	アドバンスト・アクセラレーター・アプリケーションズ	フランス	2017年10月	38億6,962万ドル	フランスの放射線医薬品会社アドバンスト・アクセラレーター・アプリケーションズの全株式取得を発表（2018年1月取得完了）。抗腫瘍剤分野を強化する。
ロシュ		イグナイト	米国	2017年12月	17億ドル	ロシュは有力ながんの新薬候補を持つイグナイトを買収することを発表。よりがん治療分野での製品ラインナップ強化を目指す。
トランスオーシャン	油田掘削	ソング・オフショア	キプロス	2017年8月	34億ドル	油田掘削を手掛けるトランスオーシャンは、キプロスに本社を持つ同業ソング・オフショアの買収で合意。北極圏など掘削困難な油田での地位を強化する狙い。
ABB	重電	GEインダストリアル・ソリューションズ	米国	2017年9月	26億ドル	ABBは、米複合企業ゼネラル・エレクトリック（GE）のインダストリアル・ソリューションズ事業の買収を発表。電化製品部門を獲得し北米市場での足場強化を狙う。
ネスレ	健康食品	アトリウム・イノベーションズ	カナダ	2017年12月	23億ドル	健康補助食品を手掛けるカナダのアトリウム・イノベーションズ買収を発表。これにより、プロバイオティクスや植物性タンパク栄養、代替食品、マルチビタミンといった取扱商品を拡充する。
チューリッヒ・インシュアランス・グループ	保険	ワンパス・ライフ	オーストラリア	2017年12月	21億4,000万ドル	保険大手チューリッヒ・インシュアランス・グループは、オーストラリア・ニュージーランド銀行（ANZ）のワンパス・ライフ買収を発表。これにより同グループはオーストラリアのリテール（小口金融）顧客向けの生保市場でのシェア一位となる。
イネオス	電力	DONGエナジー（注）	デンマーク	2017年9月	非公開	デンマークの国営電力会社DONGエナジーは、かねて売却を検討していた石油・ガス事業を、スイスの石油化学大手イネオスに売却することで合意。洋上風力発電やバイオエネルギーなど再生可能エネルギーに経営資源を集中する狙い。
グレンコア	資源	ヤンコール・オーストラリア	オーストラリア	2017年7月	11億3,900万ドル	グレンコアは、豪ニューサウスウェールズ州ハンターバレーオペレーションズ炭鉱の権益49%の取得で、中国のエン州煤業傘下のヤンコール・オーストラリアと合意したと発表。
グレンコア		シェブロン・ボツワナシェブロン・南アフリカ	米国	2017年10月	9億7,300万ドル	米石油メジャーのシェブロンの南アフリカ事業の株式75%とボツワナ事業の全株式を取得することで合意。
グレンコア		フルーレット・グループ	コンゴ民主共和国	2017年2月	5億3,400万ドル	コンゴ民主共和国の銅・コバルト生産会社ムタンダ・マイニングの株式を間接的に買い増し、保有する同国の2つの銅・コバルト権益の合併を目指す。

〔注〕 2017年10月に社名を「エルステッド（ørsted）」に変更。

〔出所〕 各社発表および報道などから作成

表9 スイスの対日主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位：100万CHF、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2016年		2017年			2016年		2017年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
医薬品	3,293	3,306	45.1	0.4	医薬品	459	689	19.2	49.9
腕時計	1,190	1,161	15.8	△2.4	乗用車	600	595	16.6	△0.9
アクセサリ・宝飾品	602	638	8.7	5.9	アクセサリ・宝飾品	529	595	16.6	12.4
医療機器	499	441	6.0	△11.7	一般機械	249	286	8.0	14.8
一般機械	324	332	4.5	2.4	電気・電子機器	165	187	5.2	13.5
たばこ	159	160	2.2	0.4	化学原材料	136	144	4.0	6.3
化学原材料	124	134	1.8	8.0	光学機器	92	117	3.3	27.5
検査・計測機器	110	134	1.8	21.4	建設機械	58	66	1.8	14.0
電気・電子機器	116	119	1.6	2.4	自動車部品	50	56	1.6	10.7
飲料	102	107	1.5	4.2	医療機器	64	62	1.7	△3.2
合計 (その他含む)	7,273	7,326	100	0.7	合計 (その他含む)	3,116	3,593	100	15.3

[注] 貴金属・宝石、芸術品、骨董品 (加工して貨幣またはその代替品として流通可能なもの) は含まない。

[出所] スイス連邦関税局

理強化を受けて抑制された。

スイス企業による対外投資は、幅広い分野で企業買収や再投資などが活発に行われた。医薬品分野では、ノバルティスが2017年10月、フランスの放射線医薬品会社アドバンスト・アクセラレーター・アプリケーションズの買収を発表、ロシユが2017年12月に米国のがん治療薬イグナイトの買収を発表した。油田掘削ではトランス・オーシャンが2017年8月、キプロスに本社を持つソング・オフショアの買収に合意、重電大手ABBは2017年9月、ゼネラル・エレクトリック (GE) のインダストリアル・ソリューションズ事業の買収を発表した。またネスレは2017年12月、健康補助食品メーカー、アトリウム・イノベーションズの買収を発表したが、これは業績回復に向けてヘルス・サイエンス事業に注力している同社の企業戦略を象徴している。資源大手グレンコアは、自動車・バッテリー事業者からの需要増を背景にコバルトの価格が値上がりしていることを受け、増産を目指しコンゴ民主共和国のコバルト生産会社などへ積極的に投資を行った。

■医薬品輸入が増加、対日貿易黒字は縮小

2017年の対日貿易は、輸出が前年比0.7%増の73億2,600万CHF、輸入が15.3%増の35億9,300万CHFとなり、貿易黒字が37億3,300万CHFへ縮小した。

主な対日輸出品目をみると、最大品目の医薬品は前年比0.4%増で構成比が45.1%となった。アクセサリ・宝飾品 (構成比8.7%) の輸出が5.9%増だった反面、腕時計 (15.8%) は2.4%減、医療機器 (6.0%) は11.7%減だった。一般機械 (4.5%)、電機・電子機器 (1.6%)、検査・計測機器 (1.8%) などの輸出は伸びた。

主要輸入品目では、医薬品 (構成比19.2%) が49.9%と大幅に増加した。アクセサリ・宝飾品 (16.6%)、一般機械 (8.0%)、電機・電子機器 (5.2%)、光学機器 (3.3%) の

輸入は好調だった反面、乗用車 (16.6%) の輸入は0.9%減だった。

スイスと日本は2009年に日本・スイス自由貿易経済連携協定 (JSFTEPA) を締結している。スイス連邦政府は、2018年7月に署名に至った日EU経済連携協定 (日EU・EPA) が発効すれば、日本市場においてスイス産品 (主に農産品) が不利になるとの危機感から、2018年4月にはアラン・ベルセ大統領兼内相が訪日し、日本政府に対して日スイスEPAの更新を要請している。

財務省の国際収支統計によれば、2017年の日本からスイスへの直接投資は244億1,000万ドル、スイスから日本への直接投資は120億3,000万ドルと、それぞれ前年比で大きく増加した。日本企業のスイスへの直接投資案件としては、楽天キャピタルによるヘルスケアアプリのdacadooへの出資、ソフトバンク・ビジョン・ファンドによるAIを活用した医薬品開発のロイヴァント・サイエンスへの11億ドルの出資など、日本のコーポレート・ベンチャー・キャピタルによるIoT、AI関連スタートアップへの積極投資が目立った。

投資案件以外の日スイス企業間連携プロジェクトも活発だ。NECは2017年9月、米国のNECエナジーソリューションズと共同で、大手配電会社チューリッヒ州電力から同国最大規模の大型蓄電システムの構築業務を受注した。これは再生可能エネルギー普及に伴う需給調整のための蓄電システム需要によるものである。川崎重工業と産業用ロボット大手ABBは2017年11月、人との共同作業が可能な「協働ロボット」分野での協業合意を発表した。共に双腕ロボットを開発しており、操作方法などの共通化により、産業ロボット市場で先手を打つ狙いだ。さらに、近年ツーク州やチューリッヒ州がフィンテックの中心地として注目されている中、特に2018年に入って、日本企業によるスイス企業との業務提携や現地法人設立による仮想通貨技術を使った資金調達 (ICO) 関連ビジネスも活発化している。

スイス企業による日本への直接投資では、ネスレが2017年7月、訪日外国人客需要に対応するため、26年ぶりにチョコレート菓子工場を新設した。また、トヨタ紡織、日本特殊塗料、スイスのオートニウムの3社は2017年10月、自動車のNV (騒音・振動) 評価・解析専門の合弁会社設立に調印した。